

まちの出来事

6/23

縄文土器作りを体験 博物館「子ども考古学」始まる

6月23日(木)、博物館の今年度の子ども考古学体験(全5回)が19日からスタート、初回は8人が参加し、縄文土器作り体験を行いました。

縄文時代の人たちのように、縄をこすりつけたり、竹べらや棒を押し付けたり、引っかいたりして自分だけの土器を作り上げていきました。



6/26

外国人材向けの日本語講座 「すまいる」で始まる

6月26日(日)、市内で暮らす外国人技能実習生・特定技能労働者のための日本語講座がもんべつ国際交流ステーション「すまいる」で始まりました。

昨年11月に「すまいる」がオープンしてから初めて開かれた日本語講座には、市内の水産加工場やビルメンテナンス会社で活躍する中国・ベトナム・タイ出身の計45人が参加しました。1回目の講座では日本語での自己紹介やカタカナの読み方、場所・物を指す指示詞の用法などを講師から教わり、はきはきとした声で復唱しながら知識の吸収に励んでいました。



7/9

紋高そ〜らん 3年ぶりまちなかで

7月9日(土)、紋別高校の学校祭「第16回紋高祭」のメインイベント「紋高そ〜らん」がオホーツク氷紋の駅前駐車場と高校陸上競技場で行われました。

中心街での生徒の演舞は3年ぶり。夏らしい青空の中、氷紋の駅会場では各クラスの生徒が息の合ったパフォーマンスを披露。生徒の家族をはじめ卒業生、地域住民ら600人近くが集まって賑わいました。

紋高生の演舞に先立ち、紋別高等養護学校の生徒も友情出演。よさこいソーランの演舞で会場を盛り上げました。

